

Session

<https://www.seasarfoundation.org:443/wiki/sc2009white/index.php?Session>

- [資料用Power Point](#)
 - [事前公開用スライド](#)
 - [PDF変換について](#)
- [タイムテーブル](#)
 - [現在のエントリー状況](#)
 - [脱デスマのとっかかり\(Buriを使った業務ロジック開発\)\(仮称\)](#)
 - [夢見るゆみる ~1.0リリースでYmirアプリ開発がどう変わるか~](#)
 - [簡易DIコンテナ「Quill」の応用](#)
 - [Hudsonを用いたOSS開発](#)
 - [Wicketとシステム開発の現場](#)
 - [Seasar2の今と未来](#)
 - [最新のDI&AOP](#)
 - [Slim3のすべて](#)
 - [HOT_deploy](#)
 - [AOP](#)
 - [DAO](#)
 - [CubbyとMavenを使った開発のまとめスレ](#)
 - [DBFlute ライトニングConditionBean](#)
 - [Scaffold\(仮\)](#)
 - [S2Unit関係](#)
 - [世界の車窓から OSS編 \(仮\)](#)
 - [Web標準コンテンツ作成支援ソフト「Pirka」の紹介](#)
 - [差のつく勉強法200](#)
 - [栗原さん](#)
 - [LT](#)
 - [下っ端からのOSS採用工作について](#)
 - [斜め上行くリッチクライアントの考え方\(仮\)](#)

資料用Power Point [±]

自由なものをお使いください。

事前公開用スライド [±]

- 2009年3月01日 スライドの締切
- 2009年3月08日 スライド公開

作成しましたスライドはこのページに添付し、MLへお知らせください。

PDFに変換後、イベントサイトへ掲載いたします。

添付時に要求される管理者パスワードは無記入のまま添付してください。

事前資料には当日に公開したいサブライズなどは含めないで構いません。

また、イベント後、事前資料と当日の発表資料の内容が異なる方に発表資料への差し替えも行います。

PDF変換について [±]

Acrobat 8.0 Professionalで変換可能なものは元ファイルをアップロードしていただければ、ふたがわが変換します。変換時の設定は次のようにしています。Acrobatで変換できなさそうなファイル形式の場合は、お手数ですがPDFファイルをご用意ください。

- 対応可能形式: MS Officeのファイル形式、HTMLなど
- 出力

- Acrobat 8.0 Professional for Windows
- 設定: 標準画質 (600dpi)
- メタ情報 (PDFのプロパティ情報)
 - タイトル: タイトル
 - 作成者: 講演者フルネーム
 - サブタイトル: ある場合のみ
 - キーワード: Seasar Conference 2009 White, SC2009White, XX
 - XXにはコマ名、例: S1, L2

タイムテーブル [↑]

(括弧内の数字は部屋の収容可能人数です。各セッションの部屋は、事前アンケートの受講予定によって変更になる場合がございますが、時間帯の変更はいたしません。)

	S301(35)	S302(35)	S303(35)	S304(40)	S305(400)	S306(200)	S307(200)	S405(400)	S406(200)
12:30					理事会活動				
13:00					報告				
13:45									
14:00									
14:45									
15:00									
15:45									
16:00									
16:45									
17:00					ライトニン				
17:45					グトークス				

現在のエントリー状況 [↑]

脱デスマのとっかかり(Buriを使った業務ロジック開発)(仮称) [↑]

名前: 今井高史

参加団体: buri-ja(<http://groups.google.co.jp/group/buri-ja?hl=ja>)

タイトル: 脱デスマのとっかかり(Buriを使った業務ロジック開発)(仮称)

概要:

過去に前例のあまりない「業務ロジック」へのソリューションであるescapeFlowことS2BuriことBuriについて、お話ししたいと思います。

このBuriは敷居が高い、難しいと言われておりますが、具体的にどうなのかという点を「作った人の視点」ではなく「使う人の視点」で解説したいです。

夢見るゆみる ~1.0リリースでYmirアプリ開発がどう変わるか~ [↑]

名前: 横田 健彦

参加団体名: The Seasar Project

タイトル: 夢見るゆみる ~1.0リリースでYmirアプリ開発がどう変わるか~

概要:

1.0をリリースしてSandboxプロジェクトから卒業したYmir。また開発支援Eclipseプラグイン「Vili (ヴィリ)」の登場で

さらに効率化したYmirアプリケーションの開発手法についてご紹介します。

簡易DIコンテナ「Quill」の応用 [↑](#)

名前：小谷 圭

参加団体名：Seasar.NET

タイトル：簡易DIコンテナ「Quill」の応用

概要：

Seasar.NET推奨の簡易DIコンテナ「Quill」の複数データソースでの使用、細かなカスタマイズなどの方法についてお知らせ。

他、Seasar.NETの新規プロダクトであるVisualStudio?アドイン集「Koropokkur.NET」の簡単な説明。

Hudsonを用いたOSS開発 [↑](#)

名前：cactusman

参加団体名：java-ja

タイトル：Hudsonを用いたOSS開発

概要：

CI (Continuous Integration：継続的インテグレーション) は、開発手法 XP (Extreme Programming) のプラクティスのひとつです。Hudson とはそのCIをサポートするためのツールです。CI や Hudson についてJiemamyやSeasarでの運用例を交えてご紹介する予定です。

Wicketとシステム開発の現場 [↑](#)

名前：矢野勉

参加団体名：Wicket-ja

タイトル：Wicketとシステム開発の現場

概要：

WicketはApache Software Foundationで開発されているアプリケーション・フレームワークです。

ドワンゴ社内システム開発にて実際にWicketを使用しているなかで、Wicketのオブジェクト指向フレームワークとしての機能がどのように使われているのか、使われたアイデアや手法についてお話しします。

Seasar2の今と未来 [↑](#)

名前：ひがやすを

参加団体名：The Seasar Project

タイトル：Seasar2の今と未来

概要：SAStruts、S2JDBCの最新機能をご紹介するとともに、今後、Seasar2、SAStruts、S2JDBCがどうなるのかをお話しします。

最新のDI&AOP [↑](#)

名前：ひがやすを

参加団体名：The Seasar Project

タイトル：最新のDI&AOP

概要：古典的なDIやAOPを振り返りながら、最新のDI&AOPの説明をします。

Slim3のすべて [↑](#)

名前：ひがやすを

参加団体名：Slim3.org

タイトル：Slim3のすべて

概要：

Simple and Less Is Moreをコンセプトに持つSlim3がいよいよ登場します。デモを中心に最新の情報をお伝えします。

HOT deploy [↑](#)

名前：木村聡
参加団体名：(株)フルネス
タイトル：HOT deploy
概要：トラブらないために。

AOP [↑](#)

名前：木村聡
参加団体名：(株)フルネス
タイトル：AOP
概要：EntityやDtoにもAOPを。

DAO [↑](#)

名前：木村聡
参加団体名：(株)フルネス
タイトル：DAO
概要：DAO再考。@OneToMany?、@ManyToOne?アノテーションを直観的に。

CubbyとMavenを使った開発のまとめスレ [↑](#)

名前：縣 俊貴
参加団体名：The Seasar Project
タイトル：CubbyとMavenを使った開発のまとめスレ
概要：
DIコンテナに依存しなくなったCubby2.0の紹介と、Maven、Eclipseを用いてCubbyでWebアプリケーションを開発、配布、構成管理する際の基本的なテクニックについてご紹介します。
Cubbyに興味がある方、Maven2に興味がある方どちらも楽しめるよくばり企画です。

DBFlute ライトニングConditionBean? [↑](#)

名前：久保 雅彦
参加団体名：The Seasar Project
タイトル：DBFlute ライトニングConditionBean?
概要：
ConditionBean?の実装を、Eclipseのショートカットを駆使してひたすら実演します。指がたくさん動きます。これからDBFlute使って実装されるディベロッパーの方には必見です。
また、既にある程度知っている人も最近追加されたCBの新機能を楽しめます。

Scaffold(仮) [↑](#)

名前：takao
参加団体名：The Seasar Project
タイトル：Scaffold(仮)
概要：
Seasar の Scaffold は、Java で Ruby on Rails などのスクリプト言語に 負けない生産性を出すための手段の1つです。一方、Scaffold は、1テーブルに対してCRUDを行う簡易なアプリケーション を生成するだけなので、生成後にカスタマイズを加える必要があります。本発表では、この点を改善するための手段として、Scaffoldの発展形に関して 紹介します。具体的には、検索条件などの改善点を盛り込んだ Scaffold や、マスタとディテール の関係を持った複数のテーブルに対する Scaffold に関して紹介します。

S2Unit関係 [↑](#)

名前：和田卓人

世界の車窓から OSS編 (仮) [↑](#)

名前：喜多伸夫

Web標準コンテンツ作成支援ソフト「Pirka」の紹介 [↑]

名前：佐々木久禎

参加団体名：The Ashikunep Kotan

タイトル：Web標準コンテンツ作成支援ソフト「Pirka」の紹介

概要：

Webサイト制作に関わる方の支援ソフト「Pirka」を紹介します。

IE,Firefox,Safariを並べて表示するマルチブラウザプレビューなど、Webサイト 制作者を あの 煩わしさから解放します。

「Pirka」は情報処理推進機構(IPA)のオープンソフトウェア利用促進事業で実施 しており、開発後はAshikunepでOSSとして公開します。

差のつく勉強法200 [↑]

名前：きしだなおき

栗原さん [↑]

LT [↑]

下っ端からのOSS採用工作について [↑]

名前：三上 本史

参加団体名： 個人

タイトル： 下っ端からのOSS採用工作について

概要：

ソフトウェア業界にはいって8年目に入り相変わらず下っ端な私なのですが、その下っ端な立場を逆に活かし、下っ端な立場からでも「これは凄い」と感じたOSSプロダクトを仕事で使えるようにする工作手法を考えたりやってみたり失敗してみたりします。

斜め上行くリッチクライアントの考え方(仮) [↑]

発表者の名前:こんびろ

所属:EclipSKY

発表のタイトル:斜め上行くリッチクライアントの考え方(仮)

発表の概要:選考があるかも、ということだったので、ネタをばらしてしまいましたが、端的に言うと自作ツール(JAM Circle)の紹介です。<http://kompiro.org/jamcircle/ja/>

なんでもかんでもWebブラウザに持ってかれるのは癪なので作成しました。Web上のリソースを取ってきて手元で加工できる環境を作ってみたら結構面白いので、そういうアプリが増えてもいいかもと思い、LTに出させていただけたらと思っています。簡単なデモも考えています。

Last-modified: 2009-02-17 (火) 19:42:26 (0m)

Site admin: [The Seasar Foundation](#)

PukiWiki 1.4.7 Copyright © 2001-2006 [PukiWiki Developers Team](#). License is [GPL](#).
Based on "PukiWiki" 1.3 by [yu-ji](#). Powered by PHP 5.2.8. HTML convert time: 0.107 sec.